

1. 単元名(主題) 「仮説を立ててみよう」

～プレ探究における仮説の立案と検証方法の検討～

2. 本時の主題の概要および設定理由

前時までに生徒は、自身の興味・関心に基づいて研究グループを構成し、課題を絞り込む中で、研究全体で明らかにしたい問いである「リサーチクエスション」を導出してきた。

本時では、このリサーチクエスションに対して、すでに明らかになっている先行研究や事実などの根拠に基づいて推論(帰納や仮説形成など)を行い、仮の答えである「仮説」を構築する。仮説を立ててから検証を進める「仮説思考」を学ぶことは、課題研究の効率性と論理性を飛躍的に高めるために極めて重要である。

さらに本時では、7月に実施予定の「プレ研究計画発表会」を見据え、仮説の根拠や検証方法(文献調査等)を整理し、発表用スライドの作成にも着手する。これら一連の活動を通じ、生徒が自らの探究計画を客観的かつ論理的に再構築する態度を育むために、本主題を設定した。

3. 本時の目標

- 1) **仮説思考の理解と実践:** リサーチクエスションに対し、既知の事実や先行研究の根拠に基づき、推論(帰納・仮説形成)を用いて論理的な仮説を設定できる。
- 2) **検証方法の検討能力の向上:** 構築した仮説が正しいかどうかを確かめるために、適切な研究方法(文献調査等を含む)を主体的に計画できる。
- 3) **発表準備と自己客観視:** プレ研究計画発表会に向けたスライドの構成ルールや参考文献の記載基準を理解し、他者へ論理的に説明するための表現方法を構想できる。

4. 本時の準備・使用教材

- 教員用提示資料: 『SS I 総探-第07回スライド』
- 使用教材(副教材): 『課題研究メソッド 2nd Edition』(岡本 尚也/新興出版社啓林館/2021)
- 生徒用ワークシート: 『前期プレ探究ノート』(Google Classroomにて配信済み)
- 共同編集用ファイル: 『プレ研究計画書兼報告書』(共有ドライブに原本テンプレート格納)
- 教員用管理資料: 『教室別名票』(各教室の担当教員に配布)、『HR別名票』
- 共有用デジタルファイル: 『前期プレ探究チーム決めスプレッドシート』(各教室用シート)
- 共通参照資料: 『高1 SS I 学習の手引き』

5. 本時の展開(50分)

時間	学習活動	指導上の留意点・教員の支援
2分	(1) 出席確認と授業環境の確認。 - 学問分野ごとに指定された教室に入室し、出席確認を受ける。座席は自由とする。 - 個人端末の準備を整え、Google Classroomから『第7回授業スライド(PDF版)』を表示する。	- ホームルーム別出席確認を効率的に行う。 - 座席は自由とするが、出欠の不一致がないよう名票と照合する。
4分	(2) 中間発表(プレ研究計画発表会)に向けた見通しを確認する。 7月の発表会に向けた発表形式(Google スライドの使用、1チーム4分、研究計画書(1)-(4)の内容)を把握する。 - 発表用スライドの基本構成(テーマ・背景・リサーチクエスチョン・仮説と検証)や、参考文献の正確な引用形式について説明を聴く。	『SSI 総探-第07回スライド』を提示し、中間目標とスライド構成例を示す。 『【Sample】xxx研究計画発表会』やスライド作成チェックリストがGoogle Classroomに配信されていることを周知し、研究発表にふさわしいスライドデザイン・文字サイズを心がけるよう指導する。 - 特に「参考文献」の引用形式については、書名、論文名、Webページの記載ルールを徹底するよう注意を促す。
4分	(3) 本時の活動目標と「仮説立案」「手法検討」の重要性を理解する。 - 本時の目標が、プレ探究ノートの(4)「リサーチクエスチョンの導出」を完了し、(5)「仮説の構築」および(6)「手法の検討(仮説検証方法の考察)」に着手することであることを確認する。 - 仮説思考の定義や、推論方法(帰納、仮説形成)の具体例について説明を聴き、理解を深める。	- 本時の目標を明確に提示し、見通しを持たせる。 - やみくもな調査を防ぐために「仮説思考」が不可欠であることを説明する。 - 帰納(事実から原則を導く)や仮説形成(結果から原因を推測する)について、日常的な例を用いて分かりやすく解説する。 - 検証方法について、本プレ探究では「文献調査を必須とする」点と、制約上「実験」は行えない点を明確に指示する。 - 進捗が遅れている教室については、手法検討(STEP4)の説明を次回に送るなど、教室内の状況に応じて指導の硬軟を調整する。
38分	(4) グループワーク (プレ探究ノートの記入、RQの導出・多面的検証、スライドの準備) - グループ内で共同して『前期プレ探究ノート』の(4)～(6)に取り組み、リサーチクエスチョン、仮説、検証方法を言語化・整理する。 - 完了したグループから順に、発表用スライドの作成分担を決め、作成に着手する。	- 教員は机間巡視を行い、グループごとの進捗状況を把握する。 - リサーチクエスチョンが未完成のグループには、問いの焦点化を最優先で指導する。 - 仮説を立てる際、「なぜその仮説が確からしいと言えるのか」という根拠(先行研究や事実情報など)を必ずセットで検討するよう促す。 - 進捗状況に応じて、チームでの役割分担(計画書執筆、スライド作成、発表原稿準備など)が効率的に進むようアドバイスを行う。
2分	(5) 本時の振り返りと次回の予告 - 本時の作業進捗を振り返り、端末内のデータをチームフォルダに正しく保存する。 - 次回が、発表準備(スライド作成、発表原稿作成・練習)の最終回であることを確認する。	- 各自の進捗を『前期プレ探究ノート』に記録するよう指示する。 - スライドファイルに保存し、チームフォルダに格納できているかの確認を指示する。 - 次回授業で中間計画発表会の準備を完成させることを予告し、計画的なタスク消化を促して授業を終える。